# 第11回　万葉こども賞コンクール

## 【作文の部　最優秀賞】

近藤　麻友　さん

徳島県在住　私立徳島文理小学校6年

題材とした万葉歌

磯城島の　日本の国は　言霊の　たすくる国ぞ　ま幸くありこそ

巻十三　三二五四　柿本人麻呂歌集

### 魔法の言葉、言霊の力

「私はできる。私はできる。」

難しい算数の問題に取り組んでいる時、国語の課題発表、運動会のリレー、ピアノのコンクールなど、私は何かの目標に向かって努力している時や、今まさにその目標に挑戦している時、必ず心の中で何度もこの言葉を言う。すると、自然と気持ちが落ち着いてがん張ることができる。想像していなかったほどのうれしい奇跡が起きることもある。私が小さいころ、母から教わったこの魔法の言葉には、何か不思議な力があるような気がしていた。

そして今日、その考えが千年以上前に生きた日本の人と通じるところがあると知り、すごく驚き、心の中に光が広がった。

「磯城島の日本の国は言霊のたすくる国ぞま幸くありこそ」

この万葉集の歌によまれた『言霊』という言葉にこめられた思い。それはきっと、言葉に宿る大きな力を信じ、言葉にし続けることで自分の意識を高め、自分を動かす力が出せるのだということ。なぜなら、言葉通りの結果に導くのは自分しかいないから。「私はできる。」と心の中で言い、前向きに行動し続けられたことが目に見えない確信を生み、現実になるのだと、私は分かった。

四月から私は中学生になる。新しい学校生活の中で、初めて挑戦することがたくさんあるだろう。けれど、どんな時も「私はできる。」の言霊の力を信じ前進していきたいと思う。